

第2期東海村スポーツ推進計画（案）に対する意見公募手続結果

第2期東海村スポーツ推進計画（案）に対する意見公募手続（パブリックコメント）を実施した結果について、下記のとおり公表します。

記

- 1 施策等の名称
第2期東海村スポーツ推進計画（案）

- 2 意見公募方法
計画（案）を村公式ホームページ上で公開するとともに、以下の村内公共施設17ヶ所に設置し、閲覧に供した。
 - (1) 学校教育課（役場行政棟4階）
 - (2) 歴史と未来の交流館
 - (3) コミュニティセンター（石神・村松・白方・真崎・舟石川・中丸）
 - (4) 総合福祉センター絆（地域福祉センター・高齢者センター・児童センター・障がい者センター・相談支援センター・保健センター）
 - (5) 総合体育館
 - (6) テニスコート
 - (7) 中央公民館

- 3 意見公募期間
令和5年12月12日（火）から令和6年1月10日（水）まで（30日間）

- 4 意見提出者数（意見提出件数）
8名（31件）

- 5 意見の要旨及び意見に対する村の考え方
別紙のとおり（計画の内容に直接関わる御意見のみ掲載）

第 2 期東海村スポーツ推進計画（案）への意見の要旨及び意見に対する村の考え方

No.	ページ	意見の要旨	意見に対する村の考え方
1	表紙	<p>計画に基づく取り組みの範囲を、広義の「運動・スポーツ」とされており、計画全編を通して「運動・スポーツ」と表記されています。</p> <p>「運動」と「スポーツ」を区分することには意味があると思いますので、村民が、より運動・スポーツを身近に感じられるよう、計画の名称についても「運動・スポーツ推進計画」としてはいかがでしょうか。</p>	<p>御指摘のとおり、運動・スポーツの「範囲」の普及・啓発が、村民の皆さまに運動・スポーツを身近に感じ、関わりを持っていただくための重要な要素だと考えております。</p> <p>つきましては、御意見を踏まえ、計画の名称を「運動・スポーツ推進計画」に変更することを検討いたします。</p>
2	3	<p>単純に H29 と R5 の結果（数値）だけの比較ですと、たまたま多かったのか少なかったのかが分からないため、今後は、もう少し短い期間（1～2年）での推移を観察してみたいかがでしょうか。少なくとも中間報告的なものがあると思います。</p>	<p>住民アンケート調査で把握する指標については5年に1度の比較となっておりますが、住民アンケート調査は村民2,000名を無作為抽出して実施しており、一定の回収率を確保しているため、信頼性は確保されているものと考えております。</p> <p>その他の指標につきましては御意見を踏まえ、定期的な把握に努め、計画の進行管理及び施策展開に活用します。</p> <p>なお、指標の達成状況は、村公式ホームページ等を活用して定期的に公表します。</p>
3	4	<p>運動・スポーツ総合情報ページのアドレス（スポーツ協会等については東海村文化・スポーツ振興財団のアドレス）を計画に明記してはいかがでしょうか。</p>	<p>御意見を参考に、計画策定後に作成するPR用パンフレットにQRコードを掲載し、運動・スポーツ総合情報ページの活用を促します。</p>
4	15	<p>村内大運動会を年一回開催するのはいかがでしょうか？規模が大きすぎる、無謀だと思われるかもしれませんが、世代を超えてごさを敷いてお弁当を広げながら競技したり観戦するのは楽しいことです。既に開催されているスポーツフェスタも素晴らしいですが、「スポーツ」と掲げていると気後れする方もいらっしゃるかと思います。</p> <p>子どもから高齢者まで、なじみのある競技を実施し、地区ごとに勝敗を決めるのも参加者のコミュニティに繋がりますし、次の運動会に向けて体力作りをされる方もいるのではないのでしょうか。運動の日常化も期待されます。</p> <p>会場の整備や人員の確保など運営は大変ですが、実現したら村全体で盛り上がると思います。</p>	<p>御意見として伺います。</p>
5	15	<p>村民が運動やスポーツを始め、習慣化していくには、従来の視点だけでは手</p>	<p>御意見として伺います。</p>

		<p>詰まりになってきています。新しい視点で効果が生まれる方法を実施していくことが、飛躍を目指す大きな力になります。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツ村民バンク（「生涯元気の素カード」の預かり） <p>→運動・スポーツ事業主催団体から、登録者のニーズに合った案内を行う。</p>	
6	17	<p>働き盛り世代・子育て世代の運動・スポーツの機会充実について、掃除や洗濯物を干すことなど、生活の中で行っている家事そのものも運動になることを実感してもらう必要があり、またそのための取り組みも必要があるかと思えます。</p>	<p>御指摘のとおり、運動・スポーツの範囲の普及・啓発が、村民の皆さまに運動・スポーツを身近に感じ、関わりを持っていただくための重要な要素だと考えております。</p> <p>つきましては、運動・スポーツの範囲や目標指標、本計画の目指す姿等についてのプロモーションに注力していきたいと考えております。</p>
7	17	<p>育児世代となる30-40代は基礎代謝が落ち、隙間時間の手軽なスポーツでは健康の維持が難しくなることから、ある程度時間をとったスポーツがしたいという要求もあると思われる。その点も勘案してほしい。</p>	<p>運動・スポーツに関するアンケート調査結果から、30-40代は運動・スポーツの実施率が低く、その主な原因は仕事や家事、育児等が「忙しいから」ということを確認しておりますので、多忙な働き盛り世代・子育て世代の方でも継続的に運動・スポーツに取り組めるよう、隙間時間を活用し、日常生活の中で手軽に実施できる機会を提供していきたいと考えております。</p> <p>一方で、御指摘のとおり、まとまった時間を確保して運動・スポーツに取り組みたいというニーズも把握しておりますので、御意見を参考に追記修正いたします。</p>
8	18	<p>高齢者の運動・スポーツへの関わり拡大について、高齢者が主体的に運動・スポーツに関わる機会として、高齢者でもできる運動・スポーツの紹介が必要だと考えます。</p> <p>座ったままでもできるスポーツ（ポッチャなど）イベントなどを企画し、世代間交流だけでなく高齢者同士のコミュニティづくりに取り組めると良いと考えます。</p>	<p>御指摘のとおり、普段、運動・スポーツに関わりを持っていない高齢者の方でも安全に楽しく実施できる種目の紹介や場の提供、講座開催等体力や目的に応じた機会の提供は、運動・スポーツの継続的な実施につながる重要な取り組みだと考えております。</p> <p>また、運動・スポーツの継続・習慣化の動機付けとなり、身体的健康に加えて精神的・社会的健康の獲得も期待できますので、高齢者も含めた運動・スポーツ実施者のグループ化に取り組んでいきます。</p>
9	18	<p>目標値には達していないとはいえ、中高年は過半数以上が週一回以上、運動・スポーツを実施しており、素晴らしいです。</p> <p>ただし、恐らく高齢者の運動・スポーツの種目としてはウォーキングが高い割合を占めているのではないのでしょうか？</p> <p>「ウォーキングは気分転換にはなるが、運動には入らない」と仰っている整形外科の医師もいます。ウォーキングは有酸素運動にはなりますが、ただ歩いているだ</p>	<p>御指摘のとおり、気軽に実施・継続できるウォーキングはどの年代においても実施率が高い種目となっております。</p> <p>年齢や性別、ライフステージはもとより、関心や実施状況等に応じ、まずはウォーキングを含む運動・スポーツの週1回以上の実施率向上を目指していきます。</p> <p>なお、御意見を参考に、ウォーキングについても筋トレやストレッチ、体操をはじめとして様々な分野と連携を図りながら推進していきます。</p>

		<p>けでは全身運動にはならないかと思われます。高齢者こそ、筋トレの必要性を感じます。ウォーキングなどの有酸素運動に筋トレとストレッチを加えれば、バランスのとれた運動になると思います。</p> <p>地区ごとに体操教室などもやっていますが、もう少し頻度を多くして健康寿命を伸ばしてほしいと思います。</p>	
10	18	<p>障がい者の運動・スポーツへの参加促進について、本村で障がい者スポーツへの関心がより高まっていくことが必要だと思います。施設のバリアフリー化も大切ですが、健常者が障がい者へ歩み寄っていきけるような事業を企画することも必要だと思います。私は長年サッカーに携わっていますが、茨城県サッカー協会の事業で健常者が障がい者とともに実施するアンパティサッカーを目にしたことがあります。障がい者と健常者が運動・スポーツを通じて絆が持てる活動が「障がい者の運動・スポーツへの参加促進」につながると思います。</p>	<p>「障がい者のためのスポーツ」という視点ではなく、障がいの有無に限らず誰もが運動・スポーツを楽しめるよう、「運動・スポーツの道具やルール、環境等を人に適応（アダプト）させる」という視点を普及・啓発し、健常者・障がい者が分け隔てなく「する」「みる」ことができるイベント等の開催に取り組んでいきます。</p>
11	18	<p>運動・スポーツに関するアンケート調査では、障がい者スポーツに関心のない人が過半数を超えています。私はパラリンピックで初めて知りましたが、実際に競技を見たことはありません。</p> <p>障がい者スポーツに関心を持ってもらうためには、競技への参加や観戦などによる認知度向上が必要です。講演会も良いと思います。</p> <p>障がい者が優先的に使用できる施設の整備、障がい者スポーツの指導者育成、介助者の確保など課題は多々あるかと思いますが、パラリンピックの鉄人ハイツ・フライ選手は、「障がいのない人はスポーツをした方がよいが、障がいのある人はスポーツをしなければならない」という言葉を残しています。</p> <p>障がいの有無に関わらずスポーツを共有することは、地域活性化につながると思います。</p>	<p>本村では、スポーツフェスタ TOKAI やニュースポーツ体験講座において、ポッチャ等の障がい者スポーツを取り入れております。</p> <p>今後も「障がい者のためのスポーツ」という視点ではなく、健常者・障がい者が分け隔てなく「する」「みる」ことができる事業の開催に取り組んでいきます。</p> <p>障がいの有無に限らず、誰もが運動・スポーツを通してにぎわいを享受できるまちを目指します。</p>
12	19	<p>運動・スポーツの場の提供について、久慈川河川敷運動場の大人用のサッカー場は起伏が激しく、競技には適していないものとなっています。また、ゴールが固定されているため、使用方法が限られています。施設管理上問題がなければ、少年用のサッカー場と同様にゴールを動かして使用できるようにしていただきたいと思います。</p>	<p>施設管理・運営上の諸条件や制限等を確認し、利用者の安全性を最優先に考えた上で、ニーズに応じて柔軟な施設開放に努めていきます。</p>
13	19	<p>「利用手続き、利用料金の支払い方法の簡略化」の具体的な中身を深堀し</p>	<p>御指摘のとおり、村の公共スポーツ施設の予約方法等には課題があると感じておりま</p>

		<p>てほしいです。</p> <p>例えば、総合体育館の予約抽選会は午前 8 時に施設に直接行く必要がありますが、午後か夕方にするなどして利用者の負担を減らす対策を検討して頂きたいです。</p>	<p>す。</p> <p>ICT の活用等により、利用者と管理者双方にとって効率的な施設の管理運営・利便性向上を図ります。</p>
14	27	<p>7 施策の展開に記載されている「主な取り組み」からは具体的な取り組みの展開が読めません。8 計画の推進の記載も具体的ではないと感じます。</p> <p>例えば、基本目標 1 スポーツに親しむ機会の創出／施策（1）子どもの運動あそびの充実に記載されている「主な取り組み」をもとに教育機関（幼稚園や保育園、学校、学童など）にどんな働きかけを行うかなどを具体的に記載することで、運動・スポーツを行うきっかけづくりや実施率の向上につながるのではないのでしょうか。</p> <p>また、各施策の具体的な取り組みを、8 計画の推進に記載してはどうでしょうか。</p>	<p>御指摘のとおり、本計画は施策ごとの方針として「主な取り組み」を取りまとめた内容となっております。</p> <p>運動・スポーツ事業を効率的・効果的・タイムリーに展開するためには、8 計画の推進に記載のとおり、村内スポーツ団体をはじめ地域団体、教育機関、民間事業所等様々な関係機関と連携・協力する必要がありますので、各関係機関と調整の上、またニーズを見極めた上で決定・実施してまいります。</p>
15	28	<p>スポーツ人口の底上げ（スポーツに対する優先順位が低い人たち）に対し、楽しみながら体を動かし、結果としてスポーツをしているような方法（ポイントためて何か景品をもらえるようなお得な考えやゲーム感覚で参加できるようなこと）も取り入れてほしい。</p>	<p>村では、令和 5 年度から茨城県公式健康推進アプリ「元気アップ！りいばらき」を活用し、ウォーキングや日々の健康づくり活動に加え、村が登録した健康づくり事業等に参加しポイントを獲得することで、県の名産品や村独自の景品に交換できる「運動習慣定着化促進事業」を開始しております。</p> <p>今後も運動・スポーツと健康づくりをリンクさせ、運動・スポーツのきっかけづくり、習慣化に取り組んでいきます。</p>
16	28	<p>村内在住者及び在勤者を対象とした事業があると思います。私は東海村出身ですが在住ではないので、参加したくてもできないことがあります。近隣自治体の住民または元東海村民まで参加対象を広げていただけるとありがたいです。</p>	<p>御意見として伺います。</p>
17	28	<p>働き盛りの親世代のスポーツ人口が増えれば、それに続いて子ども世代のスポーツ人口も増えると考えられるため、民間企業への働きかけは大変重要と思われます。ワーク・ライフ＋スポーツバランスとして推奨してはいかがでしょうか。</p>	<p>御指摘のとおり、多忙な働き盛り世代の運動・スポーツの機会を充実化するため、民間事業所と連携し、職場や地域、スポーツ施設等で手軽に運動・スポーツを行えるプログラムの提供等により、運動・スポーツが「生活の一部」として定着することを目指します。</p>
18	29	<p>育児世代（特に幼児期等の育児世代）がスポーツに取り組めるよう、一時的な託児施設等の環境づくりをしてほしい。</p>	<p>運動・スポーツに関するアンケート調査結果から、30-40 代は託児サービスの充実に公共スポーツ施設に望んでいることを確認しております。託児サービスの充実化をはじめ、施設利用時間や講座・教室等開催時間の柔軟な運用等、働き盛り世代・子育て世代の運動・スポーツ機会の充実化に取り組んでいきます。</p>
19	29	<p>東海高校の卓球場を利用させていただいています。大変ありがたく感謝していま</p>	<p>御意見として伺います。</p>

		<p>す。何点か対応いただきたい点があります。</p> <p>① 安価で個人でも購入できる太陽光型人感知照明を通路と鍵の開け閉めをする玄関に設置。</p> <p>② 試合にも使えるレベルのネットに交換。</p> <p>③ (怪我のもとにならないように) 古い卓球台の処分。</p> <p>④ 使用させてもらえる便器を東海村施設並み(ウォッシュレット付き)に更新。</p>	
20	29	<p>活動指標が施設の過不足のみの設定となっているため、施策及び主な取り組みの内容と連動するよう、村の公共スポーツ施設の効率的な運営・利便性の向上及び利用促進に関する活動指標についても設定してはいかがでしょうか。</p>	<p>御指摘を踏まえ、村の公共スポーツ施設の効率的な運営・利便性の向上及び利用促進に関する活動指標を設定いたします。</p>
21	30	<p>私は、(公財)東海村文化・スポーツ振興財団が主催するチャレンジスクール(ソフトボール)の講師を務めています。ソフトボールの楽しさを教えるために、受講生のレベルに応じて話をしたり、指導をしています。</p> <p>チャレンジスクールの講師経験から、「プロチームや地域スポーツ団体を地域が応援する仕組みづくり」が大切だと感じています。</p> <p>また、プロチームやトップアスリートに講師を依頼し、運動・スポーツ教室を開催してはどうかと考えています。昨年末、楽天イーグルスのプロ野球選手が常総市で自主トレを行い、その際に野球教室を開催したニュースを拝見しました。</p> <p>プロチームやトップアスリートから指導を受けるのは競技者ばかりでなく、初心者や親子も対象として開催し、「運動・スポーツは楽しいもの」と感じるきっかけを提供することで、実施率の向上につなげてはどうでしょうか。</p>	<p>トップスポーツに触れる経験は、スポーツの迫力や興奮、感動を味わえるなど貴重な経験になるものと考えており、スポーツフェスタ TOKAI その他各種教室等において、トップチーム・アスリートと連携を図りながら事業を実施しているところです。</p> <p>今後も本村が水戸ホーリーホックや茨城ロボッツ等と締結している連携協定等を活用しながら、競技者だけでなく広く村民の皆さまがトップチーム・アスリートに触れる機会を提供し、運動・スポーツに関わるきっかけを提供していきます。</p>
22	32	<p>ニュースポーツについて、単純なルールで比較的参加しやすい取り組みもしてほしい。</p>	<p>運動・スポーツのきっかけづくりを習慣化に展開することを目的として、毎月1回、誰でも気軽に参加できるニュースポーツの体験講座を開催しており、未就学児から高齢者まで幅広い年齢層に御参加いただいております。</p> <p>その他、地域団体のイベント等でニュースポーツの出前講座も行っております。</p> <p>今後も、ニュースポーツを活用して村民が運動・スポーツに触れる機会を提供していきたいと考えております。</p>
23	35	<p>健常者と障がい者がともに参加できるイベントを企画できると良いと考えます。簡単な企画ではないと思いますが、運動・スポーツを核とした賑わいを色々な角度から創出</p>	<p>「障がい者のためのスポーツ」という視点ではなく、健常者・障がい者が分け隔てなく「する」「みる」ことができるイベント等の開催に取り組んでいきます。</p>

		できれば良いと感じています。	障がいの有無に限らず、誰もが運動・スポーツを通したにぎわいを享受できるまちを目指します。
24	38	スポーツ推進委員の役割として、「…また、地域スポーツの推進役（リーダー）として、また、村民と行政及び各スポーツ団体との連絡・調整役（コーディネーター）としての活躍が期待されます。」と記載されていますが、計画を着実に推進するため、今後の活動方針を整理し事業を展開していく必要があると思います。	<p>スポーツ推進委員につきましては、現状、本文前段の「運動・スポーツ事業の実施に係る企画・運営」が主な活動内容となっております。</p> <p>第2期計画においては、さらに効果的かつ効率的に運動・スポーツ事業を展開し、本計画の将来ビジョンや基本目標を達成するため、本文後段に記載のとおり、「リーダー」及び「コーディネーター」としての役割を担っていただきたいと考えております。</p> <p>活動方針及び内容につきましては、本計画の具体的な取り組みとして協議・検討させていただきたいと考えております。</p>
25	38	スポーツ推進委員の現在の主な活動は、ニュースポーツを活用して村民が運動・スポーツに触れる機会を提供することかと思いますが、第2期計画（案）ではスポーツ推進委員の役割において、ニュースポーツに関する記載がありません。第2期計画では方針が変わるのでしょうか。	スポーツ推進委員の役割において「ニュースポーツ」の記載はございませんが、「村民が運動・スポーツを始めるきっかけづくりや習慣化を目的とした運動・スポーツ事業」のプログラムの一つとして継続してニュースポーツを活用していきたいと考えております。

※寄せられた御意見のほか、今回公表しました計画（案）の一部を修正しましたが、計画内容に変更が生じるものではありません。